

はすだ 自治連だより

第33号

令和4年8月14日

編集・発行 蓮田市自治連合会

地球温暖化により、毎年のように発生する異常気象“豪雨”被害!!
今後、ますます激甚化・頻発化すると言われています。

風水害対応

特集

風水害は事前に予測でき
最善な対応策を
早めに決断することです。

水害から“命”を守る方法はあるの？

マイ・タイムラインを知る

マイ・タイムライン3要点は、(中面で詳しく紹介しています。)

要1点

素早い情報収集

要2点

素早い避難決断

要3点

素早い避難行動

普段穏やかな川の流れの地域でも、風水害時は魔物と化します。

こんなに激しい雨は今まで経験したこともないし、増水量も想像していなかった。と、被災後は皆さんが言います。
過去に経験の無いことは想定できないし、イメージもしようとしない。これが問題なのです。

個人的先入観「正常性バイアス」が働き、目の前の危険を過少評価してしまうことがあるのです。

水の怖さは、アッと言う間に増水し逃げ場を失い、水が魔物と化してしまいます。

注1:「正常性バイアス」とは、自分は大丈夫。そのような被害に遭うわけがない。という災害心理

水害時の“避難決断”は、早ければ早いほど“命”は守れます。

増水の速さは、想像を超えるスピードで迫ってきます。気がついた時には手遅れの状況になることが多いのです。
一人で“避難行動の決断”は遅れがちになり、本人もどうして良いか分からなくなってしまうようです。
特に危険の伴う夜間の避難は避けるべき。2階以上に避難する「垂直避難」をお勧めします。

“一緒に避難しようよ”と、
“声掛け”が一番、やってみましょう。

早いタイミングの避難は“一声掛け”で決断させることができます。

西日本水害時(2018.7月発生、岡山県真備町など)に避難所に行かれた高齢者の大半の方が言っていました。

「近所の人に声を掛けられて来た」と語ってくれました。ぜひ声掛けを。

“早く、早く。
避難しようよ!!”

特別 毎年、発生する“風水害”。この災害から“命”を守る「タイムライン」を紹介します。

寄稿 斎藤 芳男氏：防災士(NPO法人 埼玉県防災士会 理事)／日本赤十字救急法救急員

居住地・家族構成により、それぞれ異なります。

避難スイッチONを 決めておきましょう。

我家はココでスイッチON

記載参考例

■ご家族で確認しながら記載 《夜間の移動は危険です。避けてください!!》

蓮田 家の家族構成		
世帯主	蓮田 太郎	42歳
妻	蓮田 幸子	39歳
長女	蓮田 はるか	14歳
長男	蓮田 風太	10歳
祖父	蓮田 虎之助	82歳
ペット(猫)	ココア	3歳

《夜間の移動は危険です。避けてください!!》

居住地の事前調査内容(家族で共有) ◎我が家の避難スイッチ(警戒レベル:3)

- 自宅周辺の立地環境……ハザードマップの水深想定(3.0 ~ 5.0 m)
- 1. 自宅周りの道路状況:(雨が降ると雨水が溜まりやすい)
- 2. 近くにある河川状況:(雨が降ると満水になる) 河川名:(〇〇川) 距離:(150m)
- 3. 冠水想定の影響状況:(雨が降ると毎回〇〇地域が冠水する)
- 避難所の場所は……(〇〇〇小学校) 距離:(350m) 時間:(10分)
- 指定避難所に行かない場合の避難先……(隣町のお姉さんの家 1,800m)
- 上記以外で家族の
情報連絡共有事項 [日中の災害や不在で連絡が取れない場合は、
「災害伝言ダイヤル171」で確認し、音声録音で伝える]

体験

あなたの家族の命を守る方法をイメージしながら“マイ・タイムライン”を体験してみましょう。

マイ・タイムライン(わが家の避難行動計画)とは、大雨や台風接近により水害の危険性が高まってきた時に、自分や家族がとるべき行動と被害を予測しながら、時間の流れに沿って行動計画を作成するものです。自分の家族構成や生活環境にあった避難に必要な情報・判断・行動を把握して、その時に備え記録しておきましょう。

■ご家族で確認しながら記載 《夜間の移動は危険です。避けてください!!》

家の家族構成		
世帯主		歳
		歳
		歳
		歳
		歳
ペット()		歳

居住地の事前調査内容(家族で共有) ◎我が家の避難スイッチ(警戒レベル:)

- 自宅周辺の立地環境……ハザードマップの水深想定(~ m)
- 1. 自宅周りの道路状況:()
- 2. 近くにある河川状況:() 河川名:() 距離:(m)
- 3. 冠水想定の影響状況:()
- 避難所の場所は:() 距離:(m) 時間:(分)
- 指定避難所に行かない場合 2 次避難所……(m)
- 上記以外で家族の
情報連絡共有事項 []

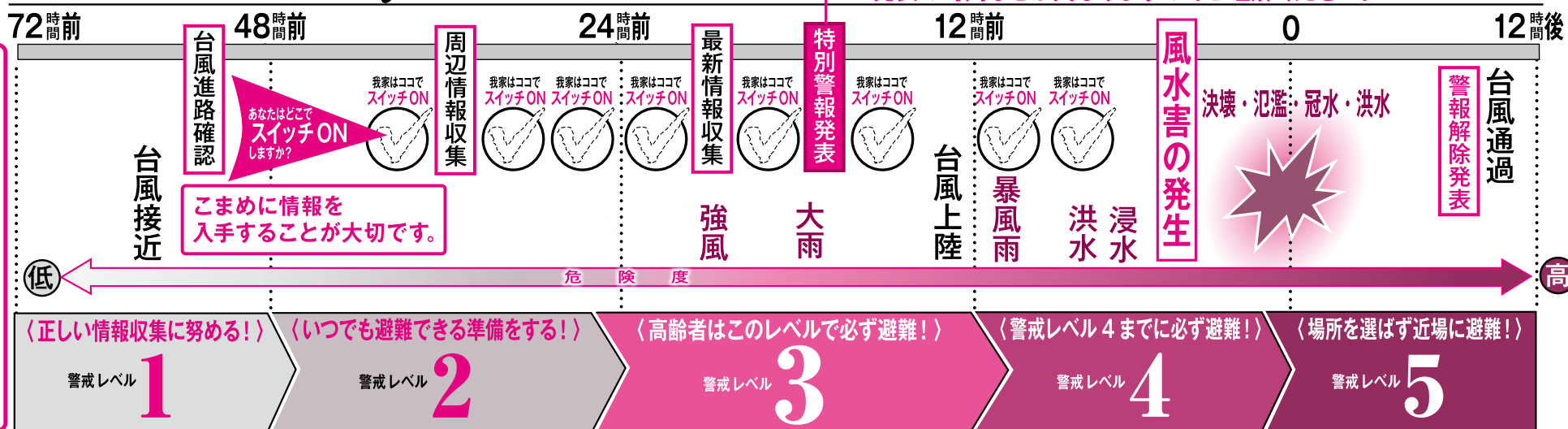
《持ち出し品は事前に準備してください!!》

避難時の持ち出し品参考リスト例

- ☐ 飲料水・食料品 ☐ スリッパor上履き
- ☐ 携帯電話・充電器 ☐ タオル
- ☐ 携帯ラジオ・LED 照明 ☐ 歯磨きセット
- ☐ 現金・通帳・印鑑 ☐ ビニール袋・レジ袋
- ☐ マスク・消毒液 ☐ 保温用フィルム
- ☐ 体温計 ☐ 保温毛布
- ☐ 常備薬・お薬手帳 ☐ 簡易型携帯トイレ

※上記は参考品目ですので思い浮かばたら追加してください

【時間的経緯を把握】My Time Line



- 災害への心構えを高める
【しっかりと情報を収集する】
時間の経過とともにコースの変化や規模が異なってきますので要注意
正しい情報をこまめに入手するように
- 自らの避難行動準備を確認
【必要なものを中心に心がける】
最新情報をもとにいつでも行動できるように
忘れ物チェックを始める
行動する時の天候状態にも配慮するように
- 危険な場所から高齢者等避難開始
【隣近所に声をかけ複数人で】
天候状態や時間帯によってリスクを伴う可能性も考えて多人数で移動する方が安心
早めに出発して危険リスクを回避
【夜間移動には細心の注意を】
- 危険な場所から全員避難
【指定避難所を優先考える】
先に行った祖父と合流する
混雑していた場合はお姉さんのところに行くことも考える
- 命の危険直ちに安全確保!
【逃げ遅れた場合の想定も】
持ち出し荷物を持って自宅の2階や近所の高い建物に垂直避難する
身近の人に避難場所の連絡を入れる

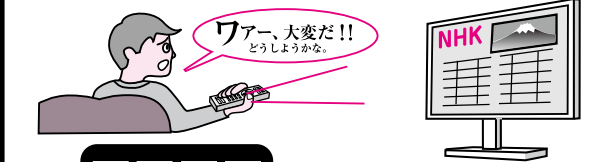
“マイ・タイムライン”は、家族みんなで考え“命を守る”最善策を事前に作成しておきましょう。

“風水害情報”

知る技 NHK・TVリモコン操作で情報入手

自宅のNHKテレビで、災害状況を瞬時に知ることができます。

簡単操作で情報収集ができ、自分がすべき避難行動が判断できます。



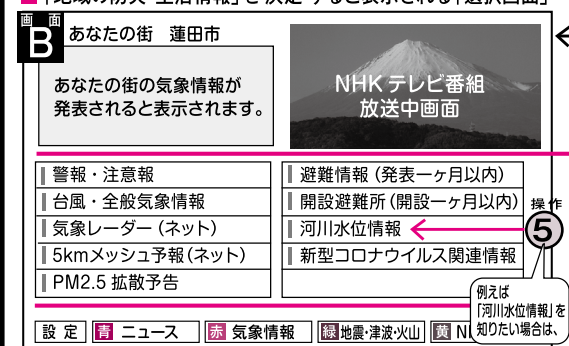
自宅のNHK・TVは、リモコンの操作一つで居住地の災害情報・気象情報が確認できるように設定されています。上手に活用して、いざと言う時、避難行動と被災回避のためにお役立てください。

- ①: リモコンの [1] を押しNHKの画面にする。
- ②: [d] ボタンを押し「選択画面」表示にする。
- ③: “地域の防災・生活情報”表示を“決定”する。
- ④: 地域の“知りたい情報項目”が表示される。
- ⑤: 表示の中から“知りたい項目”を選ぶ。

■ d ボタンを押すと表示されるA画面の「選択画面」



■ “地域の防災・生活情報”を“決定”すると表示される「選択画面」



● 知りたい上記情報項目にチェックを入れてください。

自治会長合同防災研修

ご報告

立川防災館 江戸東京たてもの園



災害は突然にやってきます。コロナ禍においては複合災害化します。
いつでも災害対応できるように、防災知識を普段から学ぶことが必要です。

■ 開催日時：2022年(令和4年)6月24日(金) 出発：7時30分～18時35分帰着

■ 参加者：自治会長(自治会役員・防災会役員)24名・貸切バス利用

■ 旅程紹介：蓮田市役所 瀧野川武蔵野銀行前 元JA南彩平野支店 → 立川防災館(見学・体験) → 昼食 →

防災館
紹介

江戸東京たてもの園 → 蓮田市役所 瀧野川武蔵野銀行前 元JA南彩平野支店 解散

1. 防災ミニシアター

地震が発生した街の様子を大型スクリーンで紹介。もし首都圏で大地震が起きたらどのように行動するか、日頃の備えをどうすればと考えさせる映像です。

2. 地震体験室

地震の震度の違いの揺れを体験。揺れの中で身の安全確保行動のシェイクアウト動作の体験も。揺れの大きい時の避難行動の難しさを知ることができます。

3. 救出救助コーナー

リアルな建物の倒壊造作物の中で救出作業体験。家族を助けたいと思って体験してみると、いざと言う時に大いに役に立つ経験をすると思います。ぜひ体験を。

4. VR防災体験コーナー

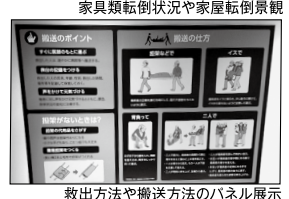
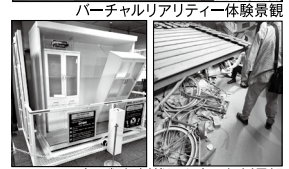
バーチャルリアリティ(VR)を活用して地震、火災、風水害など臨場感あふれる疑似体験することができ、災害の怖さと防災知識の必要性を実感させられます。

●江戸東京たてもの園＝東京の歴史ある建造物の移築や復元・保存・展示し、次代へ継承する園です。

【今回の「自治会長合同防災研修会」の企画運営にあたり、次のようなコロナ感染防止策を行いました】

1. 参加者募集人数を定員55人乗車の貸切バスですが、三密回避のため30人限定で募集しました。
2. 参加者において、事前に健康状態を確認し、見学・体験行動が可能であることを確認し、実行しました。
3. 合同防災研修会を終えた後、参加者の健康状況に問題がなかったことを確認しました。

今まで経験したことのない防災体験会。いざと言う時に役立つ知識を習得できた貴重な一日でした。



サロン桜台バス交流会

“香取神宮～北総の小江戸・佐原”を探访

ご報告



長き自粛の中、コロナ感染防止策を講じて楽しみにしていた地域ふれあいのバス交流会を実施しました。防止策含めてご報告させていただきます。

■ 開催日時：2022年(令和4年)6月9日(木) 出発：7時50分～16時30分帰着

■ 参加者：自治会員41名(内、サロン協力者7名)・貸切バス利用

■ 旅程紹介：松ヶ崎公園 → 道の駅・発酵の里こうざき → 香取神宮 → 昼食 →

東薫酒造・DVD鑑賞 → 北総の小江戸・佐原〔散策〕 → 松ヶ崎公園 解散

ウキウキ気分
楽しめました

- 香取神宮＝全国に約4,000ある香取神社の総本社であり、人々の崇敬を集め古い歴史のある神社です。
- 北総の小江戸・佐原＝水運を利用して「江戸優り(えどまさり)」といわれるほど栄えた佐原。江戸文化の面影を残す町並みが小野川沿岸や香取街道に今でも残っています。



【今回の「バス交流会」企画運営にあたり、コロナ感染防止対応策を紹介します】

1. 「日本バス協会」「国土交通省」ホームページに紹介されている感染対応策を参考に企画運営方法を決めました。
2. 事前に自治会館の掲示板に、上記資料の感染防止対応を採用した上での企画募集であることを広報し、「はすびい体操」「サロン」の開催時を利用し、十分な感染対応の企画であることを説明しました。
3. バス交流会参加者受付の際に、検温、パルスオキシメーターによる血中酸素飽和度の検査を実施しました。
4. 感染対策の結果、交流会終了後2週間経過報告で、集団感染や発熱者は無しという報告を得ました。

久しぶりの交流会。改めてご近所仲間との“ふれ合い”の大切さを実感したひと時でした。